

# 低学年



ナビ14 学級活動(2)の授業(低学年編)

児童間のトラブルに関連して、課題に合った授業を行いたいと思います。  
低学年ではどんな学活の授業が考えられますか？

## 低学年の授業で扱われた「けんかに関するトラブル」

・本当のことが言えない  
・事実を認めず嘘をつく  
・言い訳をする  
・悪口の言い合い

気持ちを抑えられなかったり、言葉で表現できなかったりするため、すぐ手が出たり泣いたりする

・1対1のトラブルが多い。  
・一時的な感情のぶつかりあいが原因で、根は浅いが頻繁に起こる

・自分のやったことを思い出せない。理由が自分でも分からない  
・体育で、勝ち負けが原因のけんか

自分の子どもの言い分を全て信じ切っている時の保護者対応



・同級生に自分のやりたことが理解されず「意地悪をされた」と怒る

教師が聞いている質問の意味が分からず、対応に時間がかかる



「自分の言動を思い出して、どうすればよかったのか考えられるとよい」、という課題設定で授業を提案します

## <低学年ってどんな時期？>

- ☆好奇心が旺盛。体を動かすことが好きで、周囲を気にせず楽しんで表現しようとする
- ☆幼児期の特徴を残しながら、知らないことや異質なものの探知欲が強い。
- ☆大人が「いけない」と言うことはしてはいけないというように、大人の言うことを自分の主張ができるようになります。自分中心の時期です。
- ★感情のコントロールを上手にできません。
- ★ひとつのことに長時間取り組み続けるのは難しいです。
- ★友達に対して配慮をしなくては難しいです。

低学年の児童は、自分がされた嫌なことや、悔しかったことに目が向きがちです。そこで、友達とけんかになったとき、自分はどうか振り返り、どうすればよかったかを考えさせる展開を提案します。低学年の段階では、起こってしまったことについては「言わなければよかった」と考えがちなことが事前調査から明らかになりました。起こったかどうかを話し合うことで、「これから」に目を向けさせます。



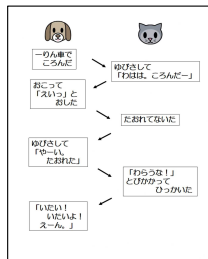
## わらい：楽しい休み時間にしよう

学級活動(2)ーウ  
望ましい人間関係の形成

時間	主な学習活動	教師の発言・支援(○)児童の反応(☆)
5	○課題の意識化	・最高の休み時間について意見を出し合い、向かっていくゴールを共有する。 ☆みんなでサッカーしてる。 ☆みんな笑ってる。「楽しいね」って言ってる。 けんかになっても、最高の休み時間に変身させる方法を考えよう
30	○話し合い活動【集団思考】	・深呼吸して気持ちを落ち着けると、けんかにならない場合があることを知る。 ・けんかに至った出来事を思い出し、自分の行動を振り返ることで、けんかを回避できるチャンスがたくさんあることを知る。 「ここがなければけんかにならなかったな、高に言えば仲直りできるな、というところを見つけよう。」 場面をひとつひとつ後ろから取り上げ友達同士で考えさせる。その後、共有する。 ☆仲間ポイントはいっぱいある。 ☆タマちゃんは「転んで大丈夫？」って言えばけんかにはならなかった。 ☆「笑わないで」って言う。 ☆泣かないで、先生に言う。 ・出されたセリフを友達と声に出して言ってみることで、日常化できるようにする。
10	○まとめ	・今後、けんかになってしまったときは、今日学習した3つの方法(深呼吸、仲間ポイントを探す、セリフを考える)を試して、最高の休み時間に変身させることを投げかける。掲示等しておく意識化できる。

### <問題の場面>

先生、わたしとボチちゃんとタマちゃんてーりん車にのってあそんでいました。そしたら、ボチちゃんがころんじったんです。それを見てタマちゃんがゆびさしてわらったの。ボチちゃんはおこってタマちゃんをおしこくって、タマちゃんが一のん車ごとおれちゃったんです。それで、ボチちゃんがゆびさしてわらったんで、タマちゃんがボチちゃんにひかかってひかいて、ボチちゃんはないちゃって・・・



### <授業者の感想>

けんかの時自分を振り返れる児童は少数で、ただ謝ればいいと思っている児童も多いです。この授業は、仲間ポイントのチャンスはたくさんあること、そのチャンスをつかむためには深呼吸して落ち着いたりセリフを考えたりするとよいという、これまでの解決方法より一歩進んだ提案だと思います。また、低学年から言葉で伝える習慣を身につけさせることは大事だと思います。


細かい発問やワークシート、授業の様子は別添資料に掲載しました。

## <コラム>

展開の中で出てくる「ここがよくなくてごめんね」、「○○しないだね」といった自分の気持ちを率直に正直に表現することをアサーションと言います。ムッとして何も言わなかったり、怒鳴って従わせる、といった表現とは異なります。相手が違う意見だったり、葛藤が生じることもあるかもしれませんが、その上で歩み寄ろうという気持ちが入っています。

ねらい： 楽しい休み時間にしよう

学級活動（２）ーウ 望ましい人間関係の形成

	教師の発言（○）	予想される児童の反応
導入	<p><b>1 課題の意識化（５分）</b>            ○みんなが“楽しくて最高！”と思える休み時間を想像してね。            みんなはどんなことをしている？</p> <p>○その時、一緒にいる友達はどんな様子かな？            ○毎日が、みんなが言ってくれたような休み時間になるといいですね。            今日は、もしも、けんかが起こっても、最高の休み時間に変身させる方法をみんなで考えましょう。</p>	 <p>☆外でサッカーができる            ☆〇ちゃんと一緒に鉄棒してる            ☆笑ってる。楽しいねって言ってる</p>
展開	<p><b>2 話し合い活動（３５分）</b>  <b>事情の聞き方を知る</b>            ○これからお話しするのは、動物小学校で起こった、ある日の休み時間のことです。ポチ君とタマちゃんがものすごいけんかをしています。 *イラストを見せる            ○みんながこの二人の友達だったら、けんかしている二人になんて言う？            そうだね、「どうしたの？」とか、「何があったん？」と聞かないと、どういう訳でけんかになったのか分からないし、いつまでたってもけんかは終わりませんね。こういう声かけは大事ですね。            ○では、みんなも、このペープサートの二人に「どうしたの？」「何があったの？」って言ってみましょう。            ○では、どんなことがあったのか聞いてください。            *資料①を読む            ○ぴいちゃんが言ってくれたように、大きく深呼吸すると気持ちが落ち着きます。やってみましょう。</p> <hr/> <p><b>仲直りできる場面を見つけ、セリフを考える</b>            ○けんかを、はじめから思い出してみましょう。            *拡大コピーを掲示            ○この中で、「ここがなければけんかにならなかったのに」、という四角を見つけられますか？○で囲んでみましょう。            隣の人や近くの人と相談していいですよ。            なるほど、けんかにならないチャンスは、実はたくさんあったのですね。            ○今、みんなは、二人のけんかを振り返ることができたけれど、自分がけんかしてしまったとき、「ここがなければけんかにならなかったな」とか、「相手に腹が立つけれど、自分はどうだったかな」、と考えますか？            自分はどうだったか考えられる人は、仲直りのチャンスをつかめる人です。            ○では、時間が戻せるとして、動物小学校で起こったけんかの出来事を、仲直りの出来事に変身させてみましょう。            隣の人や近くの人と相談していいですよ。            ○この場面で、タマちゃんはどうすればよかったでしょう。            *「いいですね。」出された言葉を板書する。ワークシートに写させる。            ○この場面で、ポチ君はどうすればよかったでしょう。            *同上            ○この場面で、タマちゃんはどうすればよかったでしょう。</p>	<p>☆大丈夫って言う。            ☆どうしてけんかしてるのって聞く。            「どうしたの？」「何があったの？」</p> <hr/> <p>☆タマちゃんは、指さして笑わなければよかった。            ☆ポチ君は、笑われてもやり返さなければよかったかな。</p> <hr/> <p>☆「転んで大丈夫？」って言う。            起こしてあげる。            ☆「笑わないでよ」って言う</p>

	<p>* 同上</p> <p>○みんなが考えたセリフを、隣の人や近くの人と声に出して言ってみましょう。</p> <p>「転んで大丈夫？」 「笑わないで」</p> <p>○困ったことがあっても、こんな風に言えるといいですね。</p>	<p>☆「笑っちゃって悪かったけど、倒さないで」って言う</p>
まとめ	<p><b>3 まとめ (5分)</b></p> <p>○きょうは、けんかになってしまっても、最高の休み時間に変身させる方法を3つ勉強しました。</p> <p>1つ目は、大きく深呼吸して気持ちを落ち着けること。</p> <p>2つめは、自分はどうかだったか、はじめて思い出すこと。</p> <p>3つめは、仲直りのセリフを考えること。</p> <p>* 板書に数字を書く。</p> <p>○今日からさっそくためしてみましょう。</p>	

<話①>

ポチ君とタマちゃんがものすごいけんかをしています。

ぴいちゃんが「どうしたの？」と聞きました。

ポチ君は「タマちゃんにひっかかれた！痛いよ痛いよ」と泣いています。タマちゃんは「一輪車倒された！」と怒っています。「ポチ君が何度もひっかくからだ」「タマちゃんが意地悪だからだ」二人とも譲りません。

そこで、ぴいちゃんは、「二人とも、深呼吸して！」と言いました。


<話②>


先生、わたしとポチくんとタマちゃんで一りん車にのってあそんでいたんです。そしたら、ポチくんがころんじゃったんです。それを見てタマちゃんがゆびさしてわらったの。ポチくんはおこってタマちゃんをおしこくって、タマちゃんが一りん車ごとたおれちゃったんです。それで、ポチくんがゆびさしてわらったんで、タマちゃんがポチくんにとびかかってひっかいて、ポチくんはないちゃって・・・

#### <板書計画>

12 / 5

ねらい
楽しい休み時間にへんしんさせよう


一りん車でころんだ



おこって「えいっ」とおした

ゆびさして「わはは、ころんだー」


ゆびさして「やーい、たおれた」

たおれてないだ

「いたい！いたいよ！えーん。」

「わらうな！」とびかかってひっかいた

しんこきゅうして！



自分はどうだったかな？どうすればよかったかな？

さいこうの休み時間に

“へんしん”させる3つのひみつ

その1

その2

その3

# 「休み時間を楽しく」

( )

☆ある日、どうぶつ小学校の休み時間に・・・



一りん車で  
ころんだ



ゆびさして  
「わはは。ころんだー」

おこって  
「えいっ」と  
おした

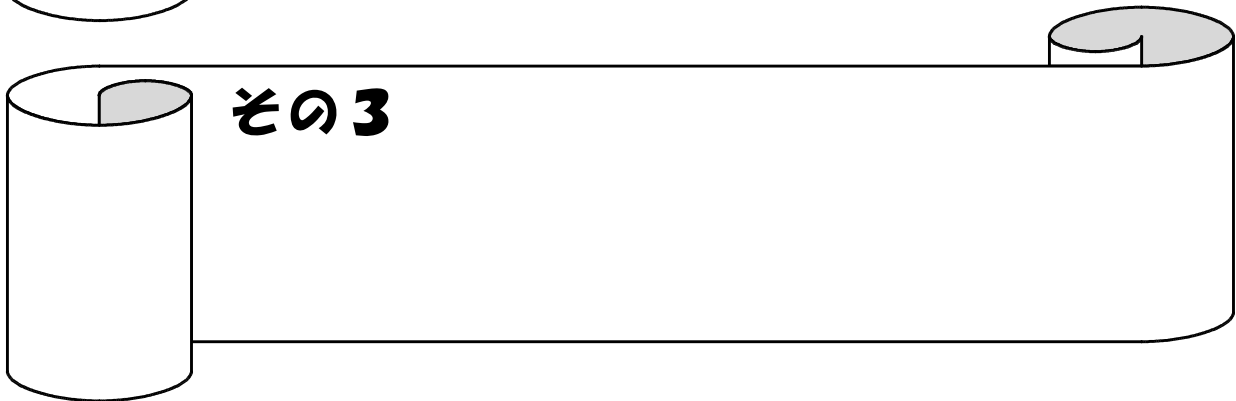
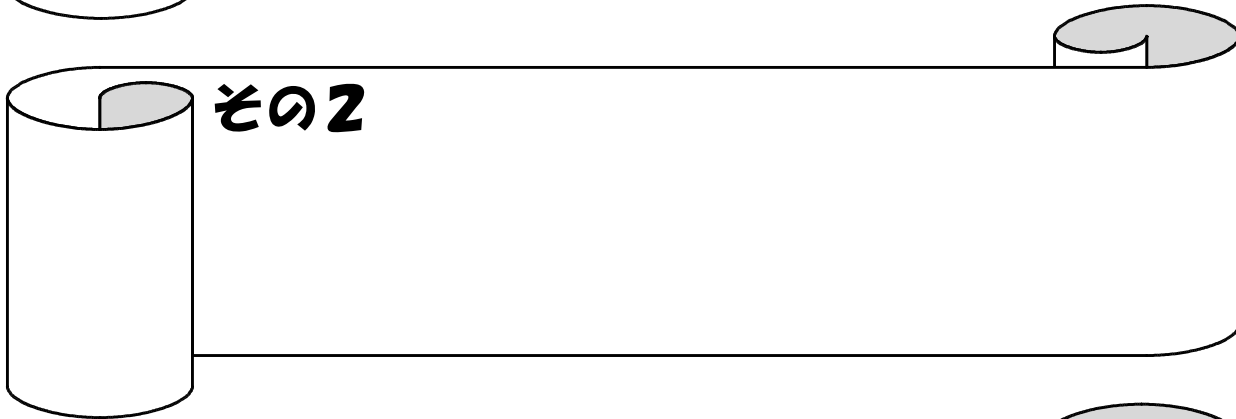
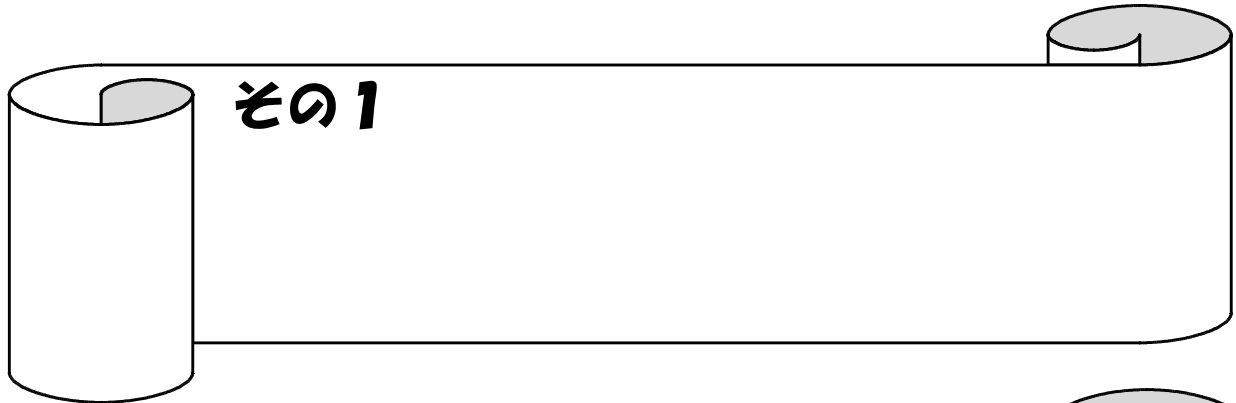
たおれてないた

ゆびさして  
「やーい。  
たおれた」

「わらうな！」  
とびかかって  
ひっかいた

「いたい！  
いたいよ！  
えーん。」

☆けんかになったとしても、さいこうの休み時間に  
“へんしん” させる3つのひみつ



☆じゅぎょうの かんそうを書きましょう。

A large rectangular box with a wavy border for writing.

# 中学年

ナビ15 学級活動(2)の授業 (中学年編)

児童間のトラブルに関連して、課題に合った授業を行いたいと思います。  
中学年ではどんな学活の授業が考えられますか？

## 中学年の授業で扱われた「対応に困ったトラブル」

- ・他学年や他クラスとのトラブルが多い
- ・解決に時間がかかる内容が多い。友達に危害を加えるなど、けんかが激しい
- ・同じトラブルを繰り返す
- ・自分の非を認めないため、解決に時間がかかる。
- ・嘘をつく
- ・些細なことでも言いつけに来るが、本人に非があることも少なくなく、対応に困ることがある
- ・周りの子にちょっかいを出し言い合いになる
- ・「〇さんにやられた」とどんな小さな事でも報告してきて、自分たちで解決しようとしな
- ・児童同士で注意する際の口調がきつい。注意された児童が泣いてしまう
- ・係や当番の仕事を上手にさぼる
- ・児童同士の言い分が異なり、事実確認が困難



「できることを考え、まずは自分たちで解決していけるとよい」、という課題設定で授業を提案します

## < 中学年ってどんな時期？ >

- ☆複数の友達で、ルールのある遊びができるようになります。一緒に通して、集団に属している意識をもち始めます。その中でルール性なども学びます。発達心理学でギャングエイジとよばれる成長期
- ☆新しいものに進んで挑戦したいという気持ちが出てきます。自然科学味ももち始める反面、理解できないと不安を抱くようになり、間違えるようになります。 ☆思考が現実的になってきます。生活基盤
- ★大人の権威が絶対でなくなり、親や教師にも反抗的な態度を取る児
- ★グループ単位で遊ぶことが増えるため、仲間外しなどが出てくるこ

中学年の児童は、グループでの遊びを好むようになり、調査でも休み時間だったです。互いの距離が近いからこそ、軽い気持ちで傷つけてしまったり、傷かたりといったことが考えられます。そこで、言葉で気持ちを伝え合う一例第三者を関わらせる方法を知らせることで、子ども同士で解決するという意します。中学年は、進んで実行する気持ちも持っているため、人の役に立つ喜すでもあります。自分たちで解決する意識を育てることは、徐々に大人に相談年以降の友達関係にも生きてくると考えます。

- 31 -



## ねらい：自分のよさを、みんなのために役立てよう

学級活動(2)一ウ  
望ましい人間関係の形成

時間	主な学習活動	教師の発言・支援(・)児童の反応(☆)
5	○課題の意識化	・事前アンケート(学級の実態調査)を使用し、よさを生かした解決方法への見通しをもたせる。 自分の強みをみんなのために役立てることについて考えよう
30	○話し合い活動 【集団思考】	・問題文の子どもの言動で、どこがおかしいのか下線を引いて考えさせる。 ☆A男は入れないのに、B男は入れたところ。 ☆誰もA男に声をかけなかった ☆A男が入りたいのをみんな気づいていたのに、先生には言わなかった。 ・日常場面でも似たようなことがないか挙げさせ、理由を聞く。 ・入れない子が出たときに、どうすればよいのか、グループで考える。 また、「入れるのをやめよう」という子がいたらどうするか考える。 ☆「A君もやる？やろうよ！」と誘う。みんなで言う。差別しない。 ☆A男君に、「入れて」って勇気出していってみるといいよって言う。 ☆入りたい人はいつでも自由に入れるルールにすれば、弱みからって外さないのでは。 ・これらの解決策に、自分の「強み」はどう生かせるかを考えさせる。 ☆A君を誘うという解決策は、はっきり意見が言える人が取り組みそう。
10	○まとめ 【自己決定】	・事前にマークした「自分の強み」を見直し、問題場面ではどんなに行動につなげられるか、普段の生活ではどうか個人で考え、ワークシートに記入させる。 ☆ほくほくいいアイデアを思いつく方なので、困っている人と一緒に考えてあげたいです。 ☆私は、相手が嫌な思いをしないようにうまく言える方なので、けんかに入ってしまう解決させてあげたいです。 ・実践を促す。

### < 問題の場面 >

近ごろドッチボールがはやりはじめて、今日も12人が楽しそうに遊んでいます。鉄棒のところに、A君が仲間に入りたそうな様子でもじもじしているのが見えますが、みんな気づかないふりをしています。A君はドッチボールが苦手で、これまでもゲームを止めてしまうことがあったからです。そこへ、ドッチボールの上手なB君が「入れて！」と元気づけてきました。みんなはじゃけんをするためゲームをストップしました。この様子を見ていたCさんが先生に報告しました。先生は、「なぜ、A君を入れないの？」と聞きました。みんなは、「A君が入りたいなんて知らなかった。」「明日は一緒に遊びます。」と答えました。

☆あなたの「よさ」は何か？もう一度チェックしてみよう。

- ☐ やさしい方だ
- ☐ みんなに公平にできる方だ
- ☐ 自分のことだけでなく、友達のこと考えられる方だ
- ☐ 周りの人のように笑っている方だ
- ☐ 言うべきことは、はっきり言える方だ
- ☐ 「いっしょに言おう」など、きこえる方だ
- ☐ いいアイデアを思いつく方だ
- ☐ 相手がいやな思いをしないようにうまく言える方だ
- ☐ やる気満々で、きょうりょくできる方だ
- ☐ がんばってみんなを助けてくれる方だ
- ☐ その他( )

その「よさ」は、あなたの「強み」です！

☆あなたの強みは、みんなのためにどんなふうに使えますか？  
☆さあ、書いてみましょう！

### < 授業者の感想 >

問題が日々の学校生活にあり得る場面なので、自分を重ねて考えやすかったと思います。こうした内容を授業で扱うことが大切で、いじめの未然防止になると思います。また、「よさ(強み)」の選択肢の幅が広いのがとてもよいです。子どもたちは、「よさ」にはいろいろあることに気づけたようです。自己決定部分が吹き出しなのも書きやすく、明日からの行動に結びつけやすいと思います。


細かい発問やワークシート、授業の様子は別添資料に掲載しました。

### < コラム >

自分の「強みや売り」を「リソース」といいます。「リソースは、「売り」でもあり「強み」でもあります。また、弱みに見えたことも、利用次第で強みや売りに変身します。無からは何も生まれません。あるもの(リソース)がとっても大事なのです。(黒沢幸子(2012)『ワークシートでプリフェラビー』より引用)」みんなが自分の強みを自覚し、それをよりよい方向に使っていかれたら、問題の解決に近づけそうです。

ねらい： 自分の強みをみんなのために役立てよう

学級活動（２）－ウ 望ましい人間関係の形成

	教師の発言（○）	予想される児童の反応
導入	<p><b>1 課題の意識化（５分）</b>            ＊じぶんのよさをチェックした事前アンケートは、授業前に各自に返しておく            ○「けんかするほど仲がよい」ということわざがあるくらい、けんかやもめ事は私たちの身近にあります。しかし、けんかは周りの人たちの気分も悪くすることがあり、納得して早く解決したいものです。            ○今日は、自分たちのよさを生かして、けんかやもめ事を解決する方法について考えましょう。            ○先日、あなたのよさは何かアンケートに答えてもらいましたね。クラスみんなの回答はこんな結果でした。何か感想のある人はいますか？            ○今日は、そのよさをみんなのために役立てることについて、話し合いましょう。            ○これは、ある小学校で起こった話です。出てくる子どもたちの行動には、おかしいところがあります。それを見つけるつもりで聞いてください。</p>	  ☆どのところにも誰かが入っている。 ☆優しい人が多い。  ☆ こういうこと、ありそうだ。
展開	<p><b>2 話し合い活動（３０分）【集団思考】</b>  <b>問題の追求</b>            ○子どもたちの行動で、どこがおかしいですか？             ○みんなA男君の気持ちを分かっていたのに、気づかないふりをしていたのですね。            ○みなさんも、これまでこういうことがありませんでしたか？ 仲間外しはよくないと分かっているけどやっちゃった。どうしてだろう。            ＊児童は触れられたくない内容ですが、この後の話し合いに生きてきます。ただ、この発問は学級の実態に応じて削ってください。            ○これは、ドッチボールの写真です。このあたりに、入りたいけれど「入れて」と言えないA男君が楽しそうな様子を見ているのでしょうか。こんな風に、入れない子が出たときに、どうすればいいのか、グループで考えましょう。</p>	☆A君は入れないのにB君は入れたところ。 ☆A君が入りたいのをみんな気づいていたのに先生に言わなかった。 ☆誰もA君に声をかけなかった。  ☆友達が言ったから合わせてしまった。 ☆ゲームが止まるのが嫌だったから。
閉	<p><b>解決方法の話し合い</b>            ＊机をグループにして話し合います。            ○（５分くらい経ったところで）「入れるのやめよう」という子がいたらどうするかも考えましょう。            ＊グループで出た意見を発表させ、板書します。            意見と、事前アンケートの“よさ”とを関連させておくと、自己決定のところで役立ちます。            ○この、「A君を誘う」という解決策は、事前アンケートの“はっきり意見が言える”に○をつけた人ができそうですね。            ○こうやって話し合うことで、A男君の言いにくさや、周りの子ども</p>	☆「A君もやる？ やろうよ！」と誘う。 みんなで言う。 差別しない。 ☆「自分が同じことされたら嫌でしょ」「話し合いしたでしょ」と言う。

	<p>もたちの意地悪な気持ちなどに気づくことができましたね。</p> <p>○みんなで意見を出し合うことが大事です。解決を話し合えたみなさんは、これから似たような場面があったときに、何かしら行動に移せると思います。</p> <p>＊机を前向きに直します。</p>	<p>☆A男君に、「入れて」って勇気出していってみたいよって言う。</p> <p>☆いつでも自由に入れるルールにする。</p>
ま と め	<p><b>3 まとめ (10分) 【自己決定】</b></p> <p>○行動に移すヒントとして、アンケートにマークしてもらった「自分のよさ」をもう一度見直しましょう。ワークシートに写してください。増やしてもいいですよ。</p> <p>みなさんが選んだこのよさは、あなたの「強み」です。「強み」を、トラブルの解決や、みんなのために生かせたらいいですね。例えば、この問題場面で、“A君を誘う”という解決策を取るとき、「優しさ」や「気づき」を強みとして選んだ人が行動に移せそうです。</p> <p>○では、自分の強みを、この問題場面でどんな風に生かせるか考えてみましょう。</p> <p>○では、それをワークシートの吹き出しに書いてみましょう。</p> <p>＊数人に発表させると、般用性が高まります。その後、実態に応じて、グループ内や学級全体で全員に言わせる。または、自分で書いたことを見直す時間を取るなど、自己決定を振り返る場があるといいです。</p> <p>○この場面以外でも、普段の生活で強みが生かせそうですか？ 例えば、授業の場面など。考えてみましょう。</p> <p>○今日からさっそくためてみましょう。</p> <p>○今日の学習の感想を書きましょう。</p>	<p>☆ぼくはいいアイデアを思いつきやすい方なので、困っている人と一緒に解決を考えてあげたいです。</p> <p>☆私は、相手が嫌な思いをしないようにうまく言えるので、けんかに入っとうまく解決させてあげたいです。</p>

#### <問題の場面>

近ごろドッチボールがはやりはじめて、今日も12人が楽しそうに遊んでいます。鉄棒のところに、A男が仲間に入りたそうな様子でもじもじしているのが見えますが、みんな気づかないふりをしています。A男はドッチボールが苦手で、これまでもゲームを止めてしまうことがあったからです。そこへ、ドッチボールの上手なB男が「入れて！」と元気よく近づいてきました。みんなはじゃんけんをするためゲームをストップしました。

この様子を見ていたC子が先生に報告しました。先生は、「なぜ、A男を入れないの？」と聞きました。みんなは、「A男が入りたいなんて知らなかった。」「明日は一緒に遊びます。」と答えました。

#### <板書計画>

12/5 日

ねらい 発見！ぼくの・わたしのお助けチャンス

アンケートの結果

これが、自分の“強み”

<問題の場面>

山田小学校では、近ごろドッチボールがはやりはじめて、今日も12人が楽しそうに遊んでいます。

鉄棒のところに、A男が仲間に入りたそうな様子でもじもじしているのが見えますが、みんな気づかないふりをしています。A男はドッチボールが苦手で、これまでもゲームを止めてしまうことがあったからです。

そこへ、ドッチボールの上手なB男が「入れて！」と元気よく近づいてきました。みんなはじゃんけんをするためゲームをストップしました。みんなは「もろいじゃんけん」をするためゲームをストップしました。

この様子を見ていたC子が先生に報告しました。先生は、「なぜ、A男を入れないの？」とみんなに聞きました。みんなは、「A男が入りたいなんて知らなかった。」「明日は一緒に遊びます。」と答えました。

遊びに入れない子が出たときに、どうすればよいのか話し合おう

- ・ ルールを決める
- ・
- ・

自分の強みを生かせそうなお助け方法

ワークシートの吹き出しに書くこと

## 学活 アンケート

名前( )

☆あなたの“よさ”はどんなところですか？

下の□から、自分に近いものぜんぶに、○をつけましょう。

- ☐ やさしい方だ
- ☐ みんなに公平にできる方だ
- ☐ 自分のことだけでなく、友達のこととも考えられる方だ
- ☐ 周りの人のようすに気づける方だ
- ☐ 言うべきことは、はっきり言える方だ
- ☐ 「いっしょに言おう」など、さそうのがとくいな方だ
- ☐ いいアイデアを思いつきやすい方だ
- ☐ 相手がいやな思いをしないようにうまく言える方だ
- ☐ やると決まったことに、きょうりよくできる方だ
- ☐ がんばっている人をおうえんできる方だ
- ☐ その他（下に書いてください）

# 発見！ ぼくの・わたしのお助けチャンス

番 （ ）

## <問題ばめん>

山川小学校では、近ごろドッチボールがはやりはじめて、今日も12人が楽しそうに遊んでいます。

鉄棒のところに、A男が仲間に入りたそうな様子でもじもじしているのが見えますが、みんな気づかないふりをしています。A男はドッチボールが苦手で、これまでもゲームを止めてしまうことがあったからです。

そこへ、ドッチボールの上手なB男が「入れて！」と元気よく近づいてきました。みんなは“もらいっ子じゃんけん”をするためゲームをストップしました。

この様子を見ていたC子が先生に報告しました。先生は、「なぜ、A男を入れないの？」とみんなに聞きました。みんなは、「A男が入りたいなんて知らなかった。」「明日は一緒に遊びます。」と答えました。

☆子どもたちの行動で、おかしいところに線を引きましょう。

☆遊びに入れない子が出たときに、どうすればよいのか、グループで意見を出し合ってください。「入れるのやめよう」という子がいるかもしれませんね・・・。

<メモ>



# 発見！ ぼくの・わたしのお助けチャンス

番 ( )

## <問題ばめん>

山川小学校では、近ごろドッチボールがはやりはじめて、今日も12人が楽しそうに遊んでいます。

鉄棒のところに、A男が仲間に入りたそうな様子でもじもじしているのが見えますが、みんな気づかないふりをしています。A男はドッチボールが苦手で、これまでもゲームを止めてしまうことがあったからです。

そこへ、ドッチボールの上手なB男が「入れて！」と元気よく近づいてきました。みんなは“もらいっ子じゃんけん”をするためゲームをストップしました。

この様子を見ていたC子が先生に報告しました。先生は、「なぜ、A男を入れないの？」とみんなに聞きました。みんなは、「A男が入りたいなんて知らなかった。」「明日は一緒に遊びます。」と答えました。

☆子どもたちの行動で、おかしいところに線を引きましょう。

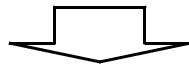
☆遊びに入れない子が出たときに、どうすればよいのか、グループで意見を出し合ってください。「入れるのやめよう」という子がいるかもしれないね・・・。

## <メモ>

- ・「A男君もやる？やろうよ！」とみんなで誘う。
- ・外そうという人には「自分が同じことされたら嫌でしょ」と言う。
- ・A男君に、「入れて」と言ってみるといいよとアドバイスする。
- ・ルールを作る

☆あなたの“よさ”は何か？もう一度チェックしてみよう。

- ☐ やさしい方だ
- ☐ みんなに公平にできる方だ
- ☐ 自分のことだけでなく、友達のことも考えられる方だ
- ☐ 周りの人のようすに気づける方だ
- ☐ 言うべきことは、はっきり言える方だ
- ☐ 「いっしょに言おう」など、さそうのがとくいな方だ
- ☐ いいアイデアを思いつきやすい方だ
- ☐ 相手がいやな思いをしないようにうまく言える方だ
- ☐ やると決まったことに、きょうりょくできる方だ
- ☐ がんばっている人をおうえんできる方だ
- ☐ そのた（                      ）



その“よさ”は、あなたの“強み”です！

☆あなたの強みは、みんなのためにどんなふうに使いそうですか？

ふき出しに、書いてみましょう！



わたしは、意見を  
はっきり言えるの  
で、1人ぼっちの人  
をさそったり「や  
めようよ」とか言  
ったりしたいです。



ぼくは、わりと気が  
つく方なので、1人  
でいる人に声をか  
けたいと思います。



私は、友だちのことも考える  
方なので、さみしそうな人が  
いたら「どうしたの」と声をか  
けるようにします。

### ☆今日の学習の感想

# 高学年



ナビ16 学級活動(2)の授業 (高学年編)

児童間のトラブルに関連して、課題に合った授業を行いたいと思います。  
高学年ではどんな学活の授業が考えられますか？

## 高学年の授業で扱われる「対応に困ったトラブル」

とりあえず謝るなど、形式的なことではできるが、内面が伴っていない

・人気のある児童の取り合い  
・女子同士の人間関係によるトラブル

・担任が入って解決したトラブルでも後を引く  
・長年の積み重ねがあるトラブル

・よくないと分かっているが周囲を気にしてやめられない、注意できない  
・自説や考えを曲げず、折り合いがつかない  
・周囲の目を気にして謝るタイミングが遅くなる

・仲良しの友達を守るために、別の子がやったと噂を流した  
・秘密をばらして相手を傷つける

・からかわれていることを心配したら「なかよくしているのかかわないでほしい」と言われた。どういことが分からない

・下級生に命令する  
・担任以外の教員の授業だとふざける。



「周りに流されないで、自分の考えで行動できるとよい」、という課題設定で授業を提案します

## ＜高学年ってどんな時期？＞

☆気持ち安定し、豊かになります。相手の立場を考えられ、優しさや思いやりになります。 ☆社会性が広がり、正義感が強くなります。  
☆プライドが張り張りにつながる反面、いじめられていることを認めないといったに作用することもあるようです。  
☆抽象的に考えられるようになり表現が豊かになります。  
☆立場を気にするようになります。非をすぐに認めなかったり、都合の悪いことがあったりします。 ☆自分を客観的に捉え、劣等感を持ちやすくなる時期です。  
★小集団ができ、集団同士で反発したりします。また、集団内でランクの組み替わりな事が起こることで、自尊心が傷つけられることもあります。集団で一人をたにするケースも増えるようです。

高学年になると、周囲からの評価が気になり、友達と違う意見を言ったり、行動したことにより、周囲から孤立してしまうのではないかと不安が強くなります。その不安に思っていることでも、周囲から浮かないようにという思いが先立ち、仲がよくなおさら、自分の考えを表しにくくなるようです。  
そこで、みんな同じ様な不安を持っていること、相手の立場も尊重しながら自分自身する方法を理解させる一例を提案します。



わらい：周囲の意見に流されないで、  
自分の考えで行動しよう

学級活動(2)－ウ  
望ましい人間関係の形成

時間	主な学習活動	教師の発言・支援(・)児童の反応(☆)
5	○課題の意識化	・周囲の意見に流されて自分の意見が言えなかった経験を出し合う。 事前アンケート(学級の実態調査)を使用する。 相手のことを考えながら、自分の考えで行動できる言い方を考えよう
30	○話し合い活動【集団思考】	・ワークシートの問題(下記のく問題)を元に、なぜ3番を選べないのか考える。 ☆いい子ぶってると言われそう。 ☆仲間はずれにされるかも ☆みんなも不安なんだな。 でも、自分の思いを変えて①や②を選ぶのはいいんだな。 ・どうしたら自分の思いを伝えることができますか？近くの人と話し合ってみよう。 ☆友達と一緒に言う。 ☆目で訴える。 ☆ジェスチャーで知らせる ・出た意見は板書する。 ☆方法はいろいろあるんだな ・自分にも友達にも3番を選ぶことがよいですね。 友達の立場も考えた、言い方を先生から提案します。 “アイメッセージ”です。 私を主語にして、どう感じているか話すり方 “アイメッセージ”と言います。 あなたを主語にした言い方を “ユーメッセージ”と言います。 問題の答えを、アイメッセージで言い換えてみましょう。 (共有する) ・ “アイメッセージ”を使って、隣の人と問題の場面を話してみよう。
10	○まとめ【自己決定】	・ワークシートの2つの場面を “アイメッセージ” で返してみよう。 ・日常のどんな場面で “アイメッセージ” を使いたいですか？ ・1週間、 “アイメッセージ” を意識して使ってみよう。 “アイメッセージ” を使えたら、ワークシートに記録してみよう。

### ＜問題の場面＞

下校の途中で、A君がみんなに「寄り道をして、沢ガ二を捕まえよう」と言いました。みんなはすぐに賛成しましたが、本当は通学路以外の道を下校してはいけない決まりがあります。誰かが見えて、学校に通報されたら、先生に注意されます。ぼくは・・・

- 1 ししぶ寄り道をする
- 2 用がある嘘を言って通学路で帰る
- 3 やめようと言う
- 4 その他



僕は、寄り道をしない方がいいと思うんだ。通学路以外の道を下校してはいけないことになっているから、いつもの道で帰る方がいいと思うんだけど、どう？

### ＜授業者の感想＞

問題として挙げられている事例が、高学年の児童がよく経験する場面なので、話し合いやすい内容だと思います。私は5年生の11月に授業を行いました。この時期に扱う道徳や国語の内容、人権月間等の取組と関連させて行えたので、より効果的だったと思います。アイメッセージを使うことは難しいですが、これを機会に意識づけることでよりよいコミュニケーションにつながると思います。


細かい疑問やワークシート、授業の様子は別添資料に掲載しました。

### ＜コラム＞

「アイメッセージ」とは「私」を主語にして、自分自身がどう感じているかを語る方法です。これに対して「ユーメッセージ」とは「あなた」を言葉のどこかに入れて話す方法です。「うるさいな」というユーメッセージを「静かに聞いてくれると私は話しやすいです」というアイメッセージで話すと、相手に気持ちが伝わり、行動が変わるきっかけになります。

ねらい： 思いをさわやかに伝えよう

学級活動（２）－ウ 望ましい人間関係の形成

	教師の発言（○）	予想される児童の反応
導入	<p><b>1 課題の意識化 （５分）</b></p> <p>○休み時間や授業中、自分だけ意見が違っていたらどうしようと、不安になることがありますか？例えば、周りはみんな同じ意見だけれど、自分はそうは思わないとき、仲よしの友達の気持ちと違うことを言うときなどドキドキしますね。</p> <p>○これはアンケート結果です。どんなことが分かりますか？</p> <p>○周囲の様子に合わせて自分の意見が言えない人もいます。結果を、もう少し詳しく話すと、自分の意見をはっきり言える人はほとんどが「すっきり」の気持ちを選んでいました。ところが、「周りに合わせる」を選んだ人のほとんどは「後悔する」を選んでいました。つまり、多くの人は、自分の意見を相手に伝えたいと思っていることが分かります。</p> <p>○このギャップをみなさんはどう考えますか？今日は、相手のことを考えながら、自分の考えで行動できるようになる言い方について、みんなで考えましょう。</p>	 <p>☆多くの人は周りが気になるようだ。</p> <p>☆自分の思いは伝えたいと思っている。</p>
展開	<p><b>2 話し合い活動 （２５分）</b></p> <p><b>周囲と違う意見を言うときの不安を考える</b></p> <p>○ワークシートの問題で、自分が選びそうな番号に鉛筆で○をつけましょう。また、望ましいと思う番号は赤で○をつけましょう。</p> <p>○どれを選んだか、隣の人と情報交換しましょう。</p> <p>○２つの○にズレがあった人は、なぜ３番を選べないのでしょうか。</p> <p>○みんな似たような不安をもっているのですね。でも、自分の思いをごまかして、みんなに合わせても、なんだか納得できない気持ちが残るのではないのでしょうか。</p> <p><b>自分の思いを貫く方法を考える</b></p> <p>○３番を言う勇気はないけれど、３番を選びたいという思いは貫きたいというときはどうしたらよいでしょう。（班別）</p> <p>○先生からも方法を提案したいと思います。</p> <p>問題のような場面では、３番を伝えた方が、自分にもみんなにもよい結果になりますね。そんなとき、友達の立場も大事にしながら自分の考えを表す“アイメッセージ”という方法を使ってはどうでしょう。</p> <p>○“アイメッセージ”というのは、“私”を主語にして、自分自身がどう感じているかを語る方法です。例えば、話そうとしているのにとっても騒がしいときを想像してください。「静かに聞いてく</p>	<p>☆いい子ぶっているとわれそう</p> <p>☆仲間はすれにされるかも</p> <p>☆友達と一緒に言う</p> <p>☆目で訴える</p> <p>☆ジェスチャーで知らせる</p> <p>☆先生や親に相談する</p>
閉		

	<p>れると、私は話しやすいです。」と言うのがアイメッセージです。これに対して、「ユーメッセージ」とは、“あなた”が言葉のどこかに入る話し方です。先ほどの例だと、「君、うるさいよ。」ということになります。</p> <p>もう少し身近な例で言うと、親からアイメッセージで「もうすぐテストなのに、勉強しないのは心配よ」と言われるのと、「いつも点数が悪いんだから勉強しなさい」とユーメッセージで言われるのとでは、同じ叱られるのでも、気分が違いますね。どう違いますか？</p> <p>○先ほどの問題を“アイメッセージ”で言い換えてみましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アイメッセージ例：ぼくは寄り道しない方がいいと思うんだ。通学路以外の道を下校していけないことになっているから、いつもの道で帰方がいいと思うんだけど、どう？</p> </div> <p>どんな言い方になるか、近くの人と相談してみましょう。</p> <p>○友達に自分の思いを伝える時は、アイメッセージで伝えることを心がけるといいですね。</p> <p>○では、先ほどの場面を近くの人と練習してみましょう。2人のセリフは、黒板に掲示しますので、両方の立場を経験してみましょう。（ロールプレイ）</p>	<p>☆ユーメッセージは強い</p> <p>☆アイメッセージは気持ちを伝えられる。言われてもやろうかなという気持ちになる。</p>
<p>まとめ</p>	<p><b>3 まとめ (15分)</b></p> <p>○では、ワークシートの練習問題をやってみましょう。</p> <p>○近くの人とセリフを共有してみましょう。</p> <p>○誰か発表してくれる人はいますか？この意見は、どうですか？</p> <p>○今日は周囲と意見が違ってても思いを伝える方法を学びました。</p> <p>○ワークシートに、日常のどんな場面でアイメッセージを使いたいか、書きましょう。</p> <p>○今日から1週間、アイメッセージを意識して実際に使ってみましょう。（できればワークシートに記録させる）</p>	

＜板書計画＞

[illegible]

## 学活 事前アンケート

名前( )

自分の考えに近い番号に○をつけてください。

授業中や休み時間、自分1人だけ、周囲と意見がちがってしまった時を、想像してください。

☆あなたは、どうしますか？

- 1 周りの意見に合わせる
- 2 まようが、周りに合わせる
- 3 まようが、自分の意見を言う
- 4 自分の意見をはっきり言える

☆そのとき、あなたの気持ちはどうでしょう？

- 1 すっきり
- 2 少し こうかいする
- 3 かなり こうかいする
- 4 いやになって落ち込む

## 思いをさわやかに伝えよう

番 ( )

☆いつものあなたが取る行動の番号に鉛筆で○をつけましょう。

本当は望ましいと思う行動には赤で○を付けましょう。

### <問題>

下校の途中で、A君がみんなに「寄り道をして、沢ガニをつかまえよう」と言いました。みんなはすぐに賛成しましたが、本当は通学路以外の道を下校してはいけない決まりがあります。誰かが見ていて学校に通報されたら、先生に注意されます。ぼくは・・・

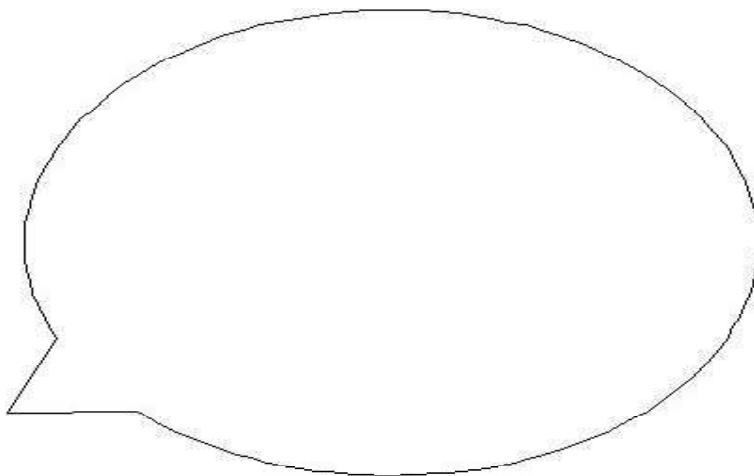
- 1 しゅしゅ寄り道をする
- 2 用があると嘘を言って通学路で帰る
- 3 「やめよう」と言う
- 4 その他



### <MEMO>

#### 2つの言い方

( ) と、( )  
主語が 「 は」 と、 「 は」



☆練習してみましょう。

- ① 友達に貸した大切な本がなかなか返ってきません。返してほしい・・・



Speech bubble for the boy's dialogue.

- ② 休み時間、私とAさんBさんでおしゃべりをしていました。

Aさんが好きな人の話を始め、最後に「これは内緒にしてね」と言いました。

なのに、帰り道、Bさんは、隣のクラスの子に、「Aさんに好きな人がいる」という話を始めました。私は・・・



Speech bubble for the girl's dialogue.

☆ 取り組みそうな場面

Large empty box with a dashed border for writing a scene.

☆ アイメッセージが使えたら、記録してみよう！

月 日 ( )		
☆どんな場面：		
☆うまくいった？	ばっちり	もうちょっと
☆相手の反応：		

## 思いをさわやかに伝えよう

番 ( )

☆いつものあなたが取る行動の番号に鉛筆で○をつけましょう。

本当は望ましいと思う行動には赤で○を付けましょう。

### <問題>

下校の途中で、A君がみんなに「寄り道をして、沢ガニをつかまえよう」と言いました。みんなはすぐに賛成しましたが、本当は通学路以外の道を下校してはいけない決まりがあります。誰かが見ていて、学校に通報されたら、先生に注意されます。ぼくは・・・

- 1 しゅしゅ寄り道をする
- 2 用があると嘘を言って通学路で帰る
- 3 「やめよう」と言う
- 4 その他



### <MEMO>

#### 2つの言い方

( アイメッセージ ) と、( ユーメッセージ )

主語が 「 私 は 」 と、 「 あなた は 」



ぼくは寄り道しない方がいいと思うんだ。  
通学路以外の道を下校してはいけないこと  
になっているから、いつもの道で帰る方が  
いいと思うんだけど、どう？

☆練習してみましょう。

② 友達に貸した大切な本がなかなか返ってきません。返してほしい・・・



この間貸した本、もし読み終わっているなら、返してくれるとうれしいな。ぼく、あの本、大事にしているんだ。

② 休み時間、私とAさんBさんでおしゃべりをしていました。

Aさんが好きな人の話を始め、最後に「これは内緒にしてね」と言いました。

なのに、帰り道、Bさんは、隣のクラスの子に、「Aさんに好きな人がいる」という話を始めました。私は・・・



私は、Aさんはみんなに知られたくなさそうだったから、その話はもうやめたほうがいいと思うんだけど。どうかな。

☆ 取り組みそうな場面

- ・ 休み時間、違う遊びに誘われたとき
- ・ 「貸して」と言われたが、嫌なとき
- ・ 休日の遊びに誘われたとき

☆ アイメッセージが使えたら、記録してみよう！

月 日 ( )

☆どんな場面：

☆うまくいった？

ばっちり

もうちょっと

☆相手の反応：